News Release

平成 19 年５月２日

各　位

会　社　名　　ア　ー　ス　株　式　会　社
代表者名　　代表取締役社長　太　田　　勝　久
コード番号　　８　５　１　４　（札幌証券取引所）
問合せ先　　取締役経営企画室長　多　田　善　行
Ｔ　Ｅ　Ｌ　　０　１　１　－　６　２　２　－　１　５　１　５

平成 19 年３月期通期業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向等を踏まえ、平成 18 年 11 月 22 日の中間決算発表時に公表した平成 19 年３月期通期の業績予想を下記のとおり修正いたします。

記

１．平成 19 年３月期通期業績予想数値の修正（平成 18 年４月１日～平成 19 年３月 31 日）

（１）連結

（単位：百万円）

	営業収益	経常利益	当期純利益
前回発表予想（Ａ）	２，７９６	５０８	△４５１
今回修正予想（Ｂ）	２，７４３	△９７４	△２，０４９
増減額（Ｂ－Ａ）	△５３	△１，４８２	△１，５９８
増減率（％）	△１．９	－	－
（ご参考） 前期実績（平成１８年３月期）	２，９１８	１４０	９９

（２）個別

（単位：百万円）

	営業収益	経常利益	当期純利益
前回発表予想（Ａ）	２，７６１	４８１	△４５９
今回修正予想（Ｂ）	２，６７８	△９８８	△２，０３６
増減額（Ｂ－Ａ）	△８３	△１，４６９	△１，５７７
増減率（％）	△３．０	－	－
（ご参考） 前期実績（平成１８年３月期）	２，８９０	１２１	８５

２．修正の理由

（１）個別業績予想の修正について

消費者金融業界におきましては、法的債務整理や利息返還請求が急増するなど、厳しい状況が続き、また平成 18 年 12 月 13 日に貸付上限金利の引き下げや年収の 3 分の 1 を超える貸付の原則禁止などを柱とする「貸金業の規制等に関する法律等の一部を改正する法律」が成立し、激変する中で推移しております。

当社は中間期におきまして、日本公認会計士協会が平成 18 年 10 月 13 日に公表した「消費者金融会社等の利息返還請求による損失に係る引当金の計上に関する監査上の取扱い」を踏まえ、「利息返還損失引当金」を計上しておりますが、想定を大きく超える近時の利息返還請求状況を勘案し、利息返還に関連して今後想定されるリスクを可能な限り反映させ、平成 19 年３月期決算において当該引当金の大幅な積み増しを行うことといたしました。この方針を反映し、今期末の利息返還損失引当金として 2,269 百万円（前期末比 2,061 百万円増、中間期末比 1,339 百万円増）の計上を予定しており、それに伴い営業費用として利息返還損失関連費用 1,844 百万円を計上する見込みであります。

また、本日「役員退職慰労引当金の計上に関するお知らせ」にて開示しておりますとおり、役員退職慰労引当金の計上に伴い、過年度分相当額４１百万円を特別損失に計上することとし、繰延税金資産につきましても回収可能性について慎重に検討いたしました結果、利息返還損失引当金に係る部分を取り崩すことといたしました。

これらを主因として。通期の経常損失につきましては９８８百万円に、当期純損失は２，０３６百万円にそれぞれ修正するものであります。

（２）連結業績予想の修正について

個別業績予想の修正に伴い、連結業績予想も修正することとなりました。

この修正は、主にアース個別決算数値の修正によるものであります。

４．期末配当について

期末配当につきましては、変更する予定はありません。

なお、上記の業績予想は、本資料発表日現在において入手可能な情報に基づく見通しであり、今後の様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

以上